

国家試験「知的財産管理技能検定」

〈第28回試験（2017年11月12日（日））実施結果データ〉 (人)

試験種	申込者数	合格者数
1級（特許）学科	607	33
1級（コンテンツ）学科	—	—
1級（ブランド）学科	—	—
1級（特許）実技	—	—
1級（コンテンツ）実技	36	30
1級（ブランド）実技	—	—
2級学科	2,025	745
2級実技	2,037	987
3級学科	3,106	2,035
3級実技	2,990	1,824
合計	10,801	5,654

・学生現役3級合格ランキング（学生3級合格者の所属する学校上位ランキング）

順位	大学・大学院ベスト10
1	東洋大学
2	近畿大学
3	徳島大学
4	千葉工業大学
5	大正大学
6	大阪工業大学
7	日本大学
7	國學院大學
9	早稲田大学
10	関西大学

順位	専門学校ベスト5
1	尚美ミュージックカレッジ専門学校
2	東京バイオテクノロジー専門学校
2	東京モード学園
4	大阪コミュニケーションアート専門学校
4	大阪総合デザイン専門学校

※第28回試験（2017年11月実施）で3級技能士となった者を集計
 ※受検申込時にとった任意アンケートを集計
 ※出身大学の集計ではありません

順位	高校・高専ベスト10
1	京都府立工業高等学校
2	一関工業高等専門学校
2	香川高等専門学校
4	埼玉県立久喜工業高等学校
5	東京都立科学技術高等学校
5	岐阜県立岐阜工業高等学校
5	三重県立伊勢工業高等学校
5	渋谷教育学園渋谷高等学校
5	神奈川県立西湘高等学校
5	石川県立金沢商業高等学校
5	大阪教育大学附属高等学校池田校舎
5	兵庫県立兵庫工業高等学校
5	明治大学付属中野八王子高等学校

〈知的財産管理技能士数〉 * 第28回試験結果までの合計人数 (人)

1級 （特許専門業務）	1級 （コンテンツ専門業務）	1級 （ブランド専門業務）	2級 （管理業務）	3級 （管理業務）	合計
1,701	307	181	30,421	54,163	86,773

〈次回実施予定〉 ※第30回試験より「試験科目及びその範囲並びにその細目」が一部変更されます

第30回試験実施日：2018年7月8日（日） 申込締切日：2018年5月31日（木） 会場：17地区

実施試験種：1級学科試験（コンテンツ専門業務）・1級実技試験（ブランド専門業務）・2級（管理業務）・3級（管理業務）

【「試験科目及びその範囲並びにその細目」の変更】 http://www.kentei-info-ip-edu.org/exam/exam_henkou.html

【年間実施予定】 http://www.kentei-info-ip-edu.org/exam_youryo/exam_yotei

IPLawTest（知的財産法学試験）

「IPLawTest」は、知的財産法の知識レベルをスコアにより評価することができる新たなテストです。

〈第2回IPLawTest実施予定〉

試験日：2018年4月29日（日） 申込締切日：2018年4月3日（火）

実施試験種：総合テスト（60問）、法領域別テスト（各20問／特許法・実用新案法、商標法、著作権）

【IPLawTest】 <https://iplt.ip-edu.org/>

知的財産アナリスト認定講座

「知的財産アナリスト」は、企業経営・ファイナンス・知的財産の専門知識を基に各種情報の収集・分析・評価等を行い、企業の戦略的経営に資する情報を提供することにより、経営と知的財産を架橋できる専門人材です。当協会では、「特許」と「コンテンツビジネス」の2つの領域に特化した講座および認定試験（学科試験・実技試験）を実施し、資格認定を行っています。

資格認定後の知的財産アナリストの多くは、「知的財産アナリスト」の知識・スキルを活用し、様々な教育機関・メディアにおいて講師活動や執筆活動をするなど活躍しています。また、企業や特許事務所から「知的財産アナリスト」を対象とした求人が寄せられ、採用された知的財産アナリストは採用企業・事務所から高い評価を受けています。※2018年2月現在の認定者数は、合計660名です（特許領域513名／コンテンツ領域147名）。

・知的財産アナリスト認定講座（特許） http://ip-edu.org/ipa_nintei

モノづくり領域を題材に、知財情報とマーケティング情報等を解析して過去分析のみならず将来予測まで行うユニークな手法を学び、経営企画、研究開発、知的財産等の関連部門と連携しながら、M & Aに代表される知財デューデリジェンスの実施や知的財産報告書の作成、経営戦略・知的財産戦略の策定・提案等ができる専門人材「知的財産アナリスト（特許）」を養成しています。最近では、2017年4月に発表された「知財人材スキル標準」（version2.0）に追加された『IPランドスケープ』業務の担い手としても注目されています。

・知的財産アナリスト認定講座（コンテンツ・ビジネスプロフェッショナル） http://ip-edu.org/ipa_con

コンテンツを活用した事業活動や社会活動は、コンテンツ産業のみならず広い範囲の産業においても行われつつあり、事業の海外展開やその結果としてのインバウンドの増加、関連産業への波及効果による地域経済の活性化などが期待されています。このような背景の中、本講座では、コンテンツやその事業を「ビジネス」の観点から評価・分析し、収益を生み出すための戦略的な事業計画の策定・提案等ができるプロフェッショナル「知的財産アナリスト（コンテンツ）」を養成しています。

■今後の実施予定 <http://ip-edu.org/ipa>

知的財産アナリスト認定講座（特許）	第20期講座 2018年初夏頃（予定）
知的財産アナリスト認定講座（コンテンツ・ビジネスプロフェッショナル）	第12期講座 2018年4～5月頃（予定）

各領域の認定講座や関連イベントの開催情報、講座修了者の活動・成果、知財アナリストを対象とした求人等の情報をメールマガジンで発信しています。本資格の取得や活用をお考えの方は、お気軽にご登録ください。

【知的財産アナリスト無料メールマガジン「IPA通信」】 http://ip-edu.org/ipa_ml

産業財産権制度調和に係る共同研究調査事業

当財団の知的財産研究所では、「平成29年度産業財産権制度調和に係る共同研究調査事業」（特許庁委託）として、研究者の派遣及び招へいを実施しております。研究者と研究テーマ等の一覧は以下のとおりです。

【派遣研究者】

氏名（派遣先）	研究テーマ	派遣期間
岡野 直幸 氏 （マーストリヒト大学法学部）	グローバル時代の知的財産権制度の動態といわゆる伝統的知識の保護	平成29年11月～平成30年1月
新井 泰弘 氏 （ニューヨーク大学 Stern School of Business）	標準必須特許の質の確保に向けて	平成30年1月～2月

【招へい研究者】

氏名（現職）	研究テーマ（仮訳）	滞在期間
Ms. Tatiana Machado ALVES 氏 （ブラジル、Licks Attorneys シニアアソシエイト）	特許の損害賠償額の算定方法調和に向けた課題：比較手法による主要課題	平成29年12月～平成30年1月
Ms. Ana Barbara QRN RAMALHO 氏 （マーストリヒト大学助教）	AIにより生成された発明の特許性 ー特許制度改革の必要性	平成30年1月～2月

知的財産保護包括協力推進事業

平成30年1月6日、7日、知的財産研究所は、「平成29年度知的財産保護包括協力推進事業」（特許庁委託）の一環として、北京において日中両国の共同研究者による第3回会議を開催しました。

共同研究の3テーマ（「知財専門裁判所の在り方に関する研究」、「悪意の商標に関する研究」及び「部分意匠の保護に関する研究」）について、中国側の政府関係者及び司法関係者を中心にお招きし、日中両国の共同研究者による研究成果の報告と活発な意見交換が行われました。また、翌1月8日には、日中の共同研究者が北京知識産権法院を訪問し、裁判所関係者と意見交換を行いました。

これらの研究成果は、共同研究報告書にまとめられ、日中両言語により公開されます。

